



若い群像

朝夕にはストーブが恋しくなる季節になりましたが、これから多くなるのが、火の取扱い不注意などによる火災の発生。

柴崎武則さんは、留萌消防本部に勤務する消防士のタマゴさん。

この道に入って、まだ九ヵ月、消火方法など訓練の真最中だ。

ところが、この間に七回も本物の火災に出動。「初めての出動の時には何をどうしたのか、でも訓練がきいていたせいか、自分では落ちついていたと思っっているんですけどね。」

「小さい時にね、消防隊を見てカッコいいと思って憧れましたが実際は昼も夜もない辛いものですね。」と本音をチョッピリ。

柴崎君の本部での一日は、朝の点声から始まり、機具の整備、点検、そして毎日二〜三時間に及ぶ訓練が行なわれている。

「市民の方の生命と財産を守るこのことを自分の最高の身上としています。」と力強く言い切る柴崎君は、若く白い歯を見せてニコリ笑った。

コリ笑った。

広報

若い

'73
10月号
第187号